

(新)市町村の廃棄物処理事業の3R化に向けた改革調査費

15百万円(0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課

1. 事業の概要

市町村の廃棄物処理事業の3R化を図るため、平成18年度に作成する一般廃棄物処理事業のコスト分析手法を示す「廃棄物会計基準」、有料化の考え方を示す「有料化ガイドライン」及び一般廃棄物の標準的な分別収集区分や再資源化・処理方法の考え方を示す「処理システムガイドライン」を踏まえ、市町村の廃棄物処理事業を、効率性、3R効果、温暖化対策効果等の観点から数値化して評価する「3R化事業評価指標」を設定し、人口・産業等の地域特性が類似する市町村間で比較評価できるようにする。

また、市町村の一般廃棄物処理計画を3R化改革するための手段と取組方策等を示し、一般廃棄物処理計画策定指針を改訂する。

2. 事業計画

平成19年度：「3R化事業評価指標(案)」の設定、類似団体間の
ケーススタディ

平成20年度：「3R化事業評価指標」及び一般廃棄物処理計画策定
指針改定の策定

3. 施策の効果

市町村の廃棄物処理事業について、類似団体間で比較評価が可能な指標を設定することにより、以下の効果が得られ、市町村の廃棄物処理事業の費用対効果(3R、CO2削減、効率性等)を高めることができる。

- ・ 事業が社会経済的に効率的なものとなる。
- ・ 個々の市町村の現在の水準と先進市町村の水準を把握・評価
- ・ 一般廃棄物処理システムの変更や新規導入などの市町村の廃棄物処理事業の説明にあたって、その必要性和環境負荷面、経済面等に係る利点・課題を、住民や事業者に明確に説明することができる。
- ・ 一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、住民の意識改革等を進めることができる。

市町村の廃棄物処理事業の3R化に向けた改革

【目的】

- 一般廃棄物処理事業の3R化を社会経済的・効率的に進める。

ツールの作成

廃棄物会計基準

一般廃棄物処理事業の
コスト分析手法

有料化ガイドライン

有料化の進め方

処理システムガイドライン

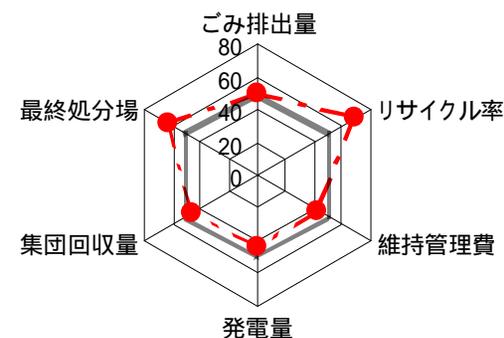
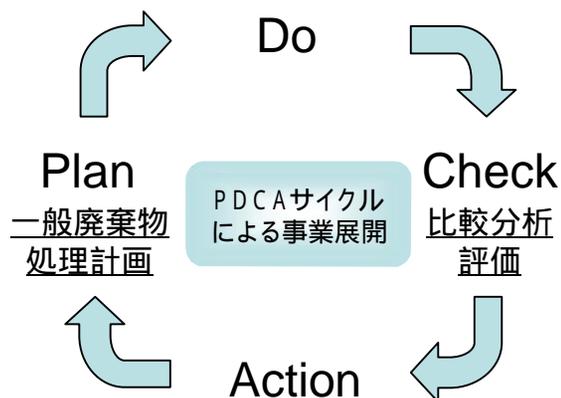
一般廃棄物の標準的な分別
収集区分や再資源化・処理
方法の考え方

平成18年度内に
取りまとめ

平成17～18年度の事業

ツールを踏まえた3R化改革手法の策定

- 市町村廃棄物処理事業の効率性・資源・エネルギー回収・減量化効果の比較分析手法、指標の策定
- 市町村一般廃棄物処理計画の3R化改革への手段や地域の取組方策等を示す指針策定



平成19～20年度の事業

効率的に3R推進